

2016年3月5日(土)・6日(日) シンポジウム/口頭発表/ポスター発表

■会場 東京大学 弥生講堂 於

 東京都文京区弥生1-1-1
 地下鉄：南北線「東大前」駅下車 徒歩1分
 千代田線「根津」駅下車 徒歩8分

■大会参加費

	事前登録	当日登録	学生	一般
学術大会費*	4000円	5000円	3000円	5000円
懇親会費	4000円	5000円	2000円	5000円

*2日間。1日のみの参加でも、金額は同じです。

3月5日(土)

シンポジウム1

「補助犬からアシスタンス・ドッグへ： 普及と発展に向けた課題と社会の意識」

アシスタンス・ドッグとは？！

私達の良き友、犬。わが国でも補助犬たちはその最たるものとして、ヒトと社会を繋ぐ重要な役割を担っている。そして本シンポジウムでは、アシスタンス・ドッグとはなにか、概念とその社会における普及と発展について、議論を深める。

座長：新島 典子（ヤマザキ学園大学 動物看護学部）

山本 真理子（帝京科学大学 生命環境学部）

鋒山 佐恵（一般財団法人ヒューマニオン財団）

橋爪 智子（特定非営利活動法人 日本補助犬情報センター）

星加 良司（東京大学バリアフリー教育開発センター・東大先端科学技術センター）

コメンテーター

甲田 菜穂子（東京農工大学 農学部）

**3月5日(土)・6日(日)**

口頭発表・ポスター発表

3月6日(日)

シンポジウム2

「競走馬と人 — 競馬の魅力 —」

我々を魅了する競馬の世界を紐解く！！

ヨーロッパ競馬の歴史、競走馬と人の関係、日本における競馬の特性、そしてギャンブル……。競馬あるいは競走馬が現代社会や人々に与える影響について議論を深めたい。

座長：伊谷 原一（京都大学野生動物研究センター）

光田 達矢（慶應義塾大学経済学部）

楠瀬 良（日本装削蹄協会）

野元 賢一（日本経済新聞 東京本社編集局運動部記者）

片山 真（ギャンブルライター）

